

環境負荷低減事業活動の実施に関する計画

1 実施内容に対応する同意基本計画の名称

石川県環境負荷低減事業活動の促進に関する基本計画（ ）

注 環境負荷低減事業活動の実施区域を含む市町村が、3②に記載する市町と異なる場合には、当該市町の名称を基本計画の名称の横に併せて記載すること。

2 申請の区分

新規申請 ・ 再認定（認定番号： ） ・ 変更

注 該当する区分にチェック（レ）を付けること。

3 申請者等の概要

申請者（代表者）	
①氏名又は名称： 石川 太郎 （法人その他の団体の場合はその代表者の氏名： ）	
②住所又は主たる事務所の所在地： 〒920-8203 石川県金沢市鞍月1丁目1	
③連絡先 ・電話番号： 076-225-△△△△ ・E-mailアドレス： ○○○○@○○○○.jp ・担当者名： ○○ ○○	
④業種： <input type="checkbox"/> 耕種農業 <input type="checkbox"/> 畜産業 <input type="checkbox"/> 林業 <input type="checkbox"/> 漁業	
申請者	
①氏名又は名称： （法人その他の団体の場合はその代表者の氏名： ）	
②住所又は主たる事務所の所在地：	
③連絡先 ・電話番号： ・E-mailアドレス： ・担当者名：	
④業種： <input type="checkbox"/> 耕種農業 <input type="checkbox"/> 畜産業 <input type="checkbox"/> 林業 <input type="checkbox"/> 漁業	
関連措置実施者（法第19条第3項に規定する措置を含める場合）	
①氏名又は名称： （法人その他の団体の場合はその代表者の氏名： ）	
②住所又は主たる事務所の所在地：	
③連絡先 ・電話番号： ・E-mailアドレス： ・担当者名：	
④業種： <input type="checkbox"/> 農林漁業 <input type="checkbox"/> 資材製造業 <input type="checkbox"/> 食品製造業 <input type="checkbox"/> 食品流通業 <input type="checkbox"/> その他（ ）	

注1 記入欄が足りない場合は、各々の欄を繰り返し設けて記載すること。

2 申請者が個人の場合であって、「住所」が「主たる事務所の所在地」と異なるときには、「住所」及び「主たる事務所の所在地」を併記すること。

3 「④業種」には、該当するものにチェック（レ）を付けること。「その他」の場合には、事業内容を（ ）内に記載すること。

4 環境負荷低減事業活動の実施に関する事項

(1) 農林漁業経営の概況

**農) ○ha の農地を経営 (従業員数○名)。主な品目は、米○ha、ニンジン○a。
林) 年間素材生産量 (○立法メートル)。従業員数○名。
水) 年間漁獲量 (養殖生産量) ○t。主な魚種は○○、○○。従業員数○名。**

注 1 現状の経営規模 (経営面積、飼養頭羽数、生産量、漁獲量) や経営類型 (主な品目、畜種等)、労働力等の概況について簡潔に記載すること。

2 農業にあっては、環境負荷低減事業活動に取り組む品目の現状の経営規模についても記載すること。

(2) 環境負荷低減事業活動の類型

- a. 有機質資材の施用による土づくり及び化学肥料・化学農薬の使用減少
- b. 温室効果ガスの排出の量の削減
- c. 土壌を使用しない栽培技術の実施及び化学肥料・化学農薬の使用減少
- d. 家畜のふん尿に含まれる窒素、磷その他の環境への負荷の原因となる物質の量の減少
- e. 餌料の投与等により流出する窒素、磷その他の環境への負荷の原因となる物質の量の減少
- f. 土壌炭素貯留に資する土壌改良資材の農地又は採草放牧地への施用
- g. 生分解性プラスチック資材の使用その他の取組によるプラスチックの排出若しくは流出の抑制又は化石資源由来のプラスチックの使用量削減
- h. 化学肥料・化学農薬の使用減少と併せて行う生物多様性の保全

注 該当する取組にチェック (レ) を付けること。

(3) 環境負荷低減事業活動の推進方向

○生産・販売の現状：**収量 3t/10a**
○生産・販売の課題：**肥料コストが高い**
○取組の方向性：**設立以来、慣行農業として、化学肥料・化学農薬を活用し米の生産に取り組んできた。昨今の環境への配慮した消費活動を踏まえ、新たに化学肥料・化学農薬を3割削減した農業に取り組むこととし、そのために必要な①良質な堆肥等の確保及び施用、②可変施肥田植機の導入、③防除等に必要となる設備の導入等の取組を進める。**

注 1 環境負荷低減事業活動に係る農林漁業経営の生産・販売の現状及び課題、それらを踏まえた取組の方向性について記載すること。

2 関連措置実施者がいる場合には、当該者が行う環境負荷低減事業活動に関連した措置の内容について記載すること。

(4) 化学肥料・化学農薬削減割合

<input checked="" type="checkbox"/> 3割以上（エコ農業）（認定番号： 000 ）
<input type="checkbox"/> 5割以上（特別栽培）（認証番号： ）
<input type="checkbox"/> 化学肥料・化学農薬を原則使用しない（有機農業）（認証番号： ）

注 (2) で a を選択した場合、該当する取組にチェック（レ）を付けるとともに、石川県特別栽培農産物及び有機 JAS の認証を受けている場合は、認証番号を記載すること。

(5) 環境負荷低減事業活動の実施期間

実施期間：令和 5 年 4 月 ～ 令和 10 年 3 月（目標年度）

注 実施期間は、認定日から5年後までとする。

(6) 環境負荷低減事業活動の内容及び目標

（土づくり、化学肥料・化学農薬の使用減少に一体的に取り組む場合）

作物名	実施内容（導入する生産方式）	資材の使用量等
	（有機質資材の施用） ・マニュアルフレッダーによる堆肥（C/N比〇〇）の施用 ・堆肥混合肥料への切替え（新規導入）	（現状） 資材名： 000 使用量： 000 t/10a・年 施用時期： 〇年〇月予定
		（目標） 資材名： 000 使用量： 000 t/10a・年 施用時期： 〇年〇月予定
	（化学肥料の施用減少） ・土壌診断（令和〇年〇月実施）や収量実績に基づく適正施肥 ・可変施肥田植機の導入	（現状） 資材名： 使用量： t/10a・年 施用時期： 化学肥料由来の N 投入量： KgN/10a・年 慣行基準の N 投入量： KgN/10a・年 化学肥料削減比： %
		（目標） 資材名： 使用量： t/10a・年 施用時期： 化学肥料由来の N 投入量：

		<p style="text-align: right;">KgN/10a・年</p> 慣行基準の N 投入量 :
		<p style="text-align: right;">KgN/10a・年</p> 化学肥料削減比 : %
	(化学農薬の使用減少) ・温湯消毒種子の活用 ・防除暦の点検・見直し、実践	(現状) 資材名 : 使用回数 : 回・年 成分回数 : 回・年 使用量 : ℓ/10a 施用時期 : 慣行基準の使用回数 : 回・年 化学農薬削減比 : %
		(目標) 資材名 : 使用回数 : 回・年 成分回数 : 回・年 使用量 : ℓ/10a 施用時期 : 慣行基準の使用回数 : 回・年 化学農薬削減比 : %

作物名	環境負荷低減事業活動の取組面積	
	現状	ha
	目標	ha
	現状	ha
	目標	ha

- 注 1 記入欄が足りない場合には、欄を繰り返し設けて記載すること。
- 2 「実施内容」には、環境負荷低減事業活動の具体的な取組内容として、導入する技術や使用する資材、実施スケジュール等を記載すること。なお、JA 等で定める栽培暦に沿った取組を行う場合、当該栽培暦を参考資料として添付すること。
- 3 「有機質資材の施用」には、土壌診断結果を踏まえて取り組む土づくりの内容（施用時期、施用方法、C/N 比等）を記載すること。
- 4 「資材の使用量等」には、環境負荷の低減の目標指標として、有機質資材及び化学肥料については 1 作当たりの施用量 (t/10a 等)、化学農薬については 1 作当たりの使用回数(回)や散布量 (ℓ/10a 等) を記入すること。
- 5 土づくり、化学肥料・化学農薬の使用減少に取り組むほ場の土壌診断結果を添付すること。

(上記以外の活動類型の場合)

類型	作物名	実施内容（導入する生産方式）	資材の使用量等
		(内容) ・ハイブリッド型ヒートポンプ、環境制御装置の導入【〇年〇月予定】 ・農業用電力について、再生可能エネルギー由来に切替え【〇年〇月予定】	(現状) 燃油〇t
			(目標) 燃油〇t (削減率〇%)
		環境負荷低減事業活動 の取組面積等	(現状) 〇a
			(目標) 〇a

- 注1 記入欄が足りない場合には、欄を繰り返し設けて記載すること。
 2 「類型」には3(2)で選択した類型のアルファベットを記載すること。
 3 「実施内容」には、環境負荷低減事業活動の具体的な取組内容として、導入する技術や使用する資材等を記載すること。
 4 「資材の使用量等」には、環境負荷の低減の目標指標として、1作当たりの化石燃料の使用量、再生可能エネルギーの使用量、プラスチックの使用量等を記載すること。

(7) 経営の持続性の確保に関する事項

申請者名：	現状 (〇年〇月期)	目標 (〇年〇月期)
ア：経営規模(a)	〇a	〇a
イ：売上高	〇〇万	〇〇万
ウ：経営費(生産コスト)	〇万	〇万
エ：所得(イーウ)	〇〇万	〇〇万

- 注1 環境負荷低減事業活動を実施しない部分も含め、農林漁業経営の全体で記載すること。
 2 「ア：経営規模」には、農林漁業経営全体の経営面積や飼養頭羽数、生産量、漁獲量、労働力等の現状値及び目標値をそれぞれ記載すること。
 3 「エ：所得」には、農林漁業の所得(法人その他の団体にあつては営業利益)の現状値及び目標値について記載すること。
 4 イ、ウ、エに記載する数値は概数でも差し支えない。
 5 申請者ごとに記載することとし、必要に応じて欄を繰り返し設けて記載すること。

(8) 環境負荷低減事業活動の実施体制

責任者：石川 太郎 (本法人代表) 生産部門担当者：〇〇 〇〇 (人員数〇名) 販売部門担当者：〇〇 〇〇 (人員数〇名)
--

- 注1 環境負荷低減事業活動の実施に必要な体制及び人員について記載すること。
 2 申請者が複数の場合、関連措置実施者がいる場合には、あわせて、それぞれの役割や連携体制等について記載すること。

5 環境負荷低減事業活動に必要な資金の額及びその調達方法

使途・用途	資金調達方法	金額（千円）
可変施肥田植機購入費	自己資本	3,000
色彩選別機と一体的な建物の建設費	融資	80,000
運転資金（雇用労賃）	自己資本	2,000

注 1 「使途・用途」については、環境負荷低減事業活動に必要な設備等導入資金、運転資金等の別を記載すること。なお、設備等の導入をする場合は別表 2 に、当該設備等の導入として施設の整備を行う場合は別表 3 に、それぞれ必要事項を記載すること。

- 2 「資金調達方法」については、自己資金・融資・補助金等の別を記載すること。株式会社日本政策金融公庫等の融資を受けることを予定している場合は、その旨を明記すること。
- 3 環境負荷低減事業活動の実施に当たって特例措置を活用する場合は、別表 1 及び各特例措置に対応した別表等に必要事項を記載すること。

6 特例措置の活用に関する事項

申請者、関連措置実施者ごとに別表 1 に記載し、添付すること。

7 環境負荷低減事業活動の実施に当たっての配慮事項

本計画に基づく環境負荷低減事業活動の促進の過程で、新たな環境への負荷が生じることのないよう配慮する事項にチェック（レ）を付けること。

適正な施肥

施肥は、作物に栄養を補給するために不可欠であるが、過剰に施用された肥料成分は環境に影響を及ぼす。このため、都道府県の施肥基準や土壌診断結果等に則して肥料成分の施用量、施用方法を適切にし、効果的・効率的な施肥を行う。

適正な防除

病害虫・雑草が発生しにくい栽培環境づくりに努めるとともに、発生予察情報等を活用し、被害が生じると判断される場合に、必要に応じて防除手段を適切に組み合わせて、効果的・効率的な防除を励行する。また、農薬を用いる場合は、使用、保管は関係法令に基づき適正に行う。

エネルギーの節減

温室効果ガスである二酸化炭素の排出抑制や資源の有効利用等に資するため、ハウスの加温、穀類の乾燥など施設・機械等の使用や導入に際して、不必要・非効率的なエネルギー消費がないよう努める。

悪臭及び害虫の発生防止

家畜の飼養・生産に伴う悪臭、害虫の発生は、主として畜舎における家畜の飼養過程や家畜排せつ物の処理・保管過程に起因し、畜産経営への苦情発生要因の中の多くを占めることから、その防止・低減に資するため、畜舎からのふん尿の早期搬出や施設内外の清掃など、家畜の飼養・生産に伴う悪臭、害虫の発生を防止・低減する取組を励行する。

廃棄物の発生抑制、適正な循環利用及び適正な処分

循環型社会の形成に資するため、作物の生産に伴って発生する使用済みプラス

チック等の廃棄物の処理は関係法令に基づき適正に行う。また、作物残さ等の有機物についても利用や適正な処理に努める。

- 生産情報の記録及び保存
生産活動の内容が確認できるよう、肥料・農薬の使用状況等の記録を保存する。
- 生物多様性への悪影響の防止
農林漁業は地域の自然環境を形成・維持し、生物多様性に大きな役割を果たしていることを踏まえ、水田の中干しの実施に当たって水生生物の生息環境の保全に配慮するなど、生物多様性への悪影響を防ぐよう努める。

【その他記入欄】

該当がない事項、実行できない事項がある場合には、その理由、改善予定等を記載すること。

--

(添付書類)

関連措置実施者ごとに以下の書類を添付すること。

- 関連措置実施者が行政庁の許可、認可、承認その他これらに類するもの（以下「許認可等」という。）を必要とする事業を必要とする事業を行うときは、その許認可等を受けていることを証する書類又はその許認可等の申請の状況を明らかにした書類